

授業改善推進プラン

	1年		2年		3年	
	授業改善の方向	具体的な方策	授業改善の方向	具体的な方策	授業改善の方向	具体的な方策
		(重点項目)		(重点項目)		(重点項目)
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話し方、聞き方に気を付けさせる。話し方では、語尾に「です。」「ます。」をつけて、ていねいな言葉づかいで発表させる。相手の意見を聞いて、「同じです。」「違います。」等が言えるようにする。 読書を奨励し、文型を繰り返し復習し、作文がスムーズにいくようにする。 音読する時間を多く取り入れ、声を出したり聞いたりする時間を大切にす。 漢字一文字ずつの意味をおさながら、使い方の定着を図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎話型・聴型を取り入れ、語尾に「です。」「ます。」や「なぜかというと」「でも」等の簡単な接続詞をつかって話せるようにする。 ◎作文や日記に取り組み、書く力の向上を図る。 ◎毎日音読し、発表させる。 ◎宿題プリントや小テストを取り入れ、漢字の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大事なことを考えながら、最後まで話を聞けるようにする。 ・「なぜかというと」「でも」等の簡単な接続詞をつかって話せたり、相手の意見を聞いて、「○○さんと同じで〜。」「○○さんと違って〜。」等が言えたりできるようにする。 ・日常的に作文や日記に取り組み、書く力の向上を図る。 ・音読をすることで、言語力の向上を図る。 ・読書を奨励し、いろいろな文章や言葉に触れる機会を増やし、言語環境を整える。 ・漢字の意味や使い方を指導することで、漢字の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎話し方・聞き方について、国語科だけでなく全教科で取り入れられたり例を掲示したりしながら日常的に指導し、進んで伝え合う力を高める。 ◎話型、聴型を掲示し、常に意識をして指導するようにする。 ◎授業や毎週末の宿題等で作文に取り組みせ、心を動かされたもの、伝えたいことを分かりやすく文で表現する力を付ける。 ◎毎日の家庭学習や授業の中で音読を取り入れるようにする。 ◎読書週間などを活用し、本に親しむ機会を設ける。読み聞かせを行う。 ◎漢字の書き取りテストを毎週行い、定着を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方や聞き方を意識させる。話し方では、丁寧な言葉で、分かりやすく話せるようにする。聞き方では、人の話を最後までしっかり聞き、それに対して自分の考えも伝えられるようにしていく。 ・文章を読み、理解する力を身に付けられるようにしていく。 ・自分の考えをもち、書いたり発表したりする力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎日常的に丁寧な言葉遣いを意識させる。どの教科の授業でも発表するときなど、話型を示し伝えられるように指導していく。 ◎文章の構成や中心を視覚的に示し、内容理解につなげる。 ◎書き表し方を提示し、わかりやすく文で表現する力を身に付ける。 ◎ペアやグループで共有する時間を設ける。
社会					<ul style="list-style-type: none"> ・単元のはじめに、学習課題を立て、学習の見通しがもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎単元のはじめに児童の疑問をもとに学習課題を立てる。「はてなタイム」を設定し、疑問を出し合う時間を設ける。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な操作活動を取り入れ、数の感覚を豊かにする。ブロックや数え棒などの半具体物を用いることで、数の概念の基礎を、諸感覚を通して育てる。 ・具体物、言葉、数、図を使って、説明する活動を通して、友達との活動を楽しみ、自分の考えを確かなものにする。楽しく生き生きと学習に取り組めるように、数の提示や教材教具を工夫する。+B10:112A10:112 	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業の最初に、3分間練習の時間をとり、基礎基本を身に付けさせる。 ◎友達との考えの交流を経て、問題解決の多様さを共有し、自分の学びに生かせるようにする。また、学習したことがはっきりわかるようなノート作りをさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り上がり、繰り下がりの加減計算、筆算が確実にできるようにする。 ・かけ算九九が確実にできるようにする。 ・自分の考えを具体物、言葉、数、式、図などを使って説明する力を育てる。 ・課題に対して、自分の考えをもてるようにするとともに、友達と話し合って解決することができる力を身に付ける。 ・楽しく学習に取り組み、学んだことを生活経験に結び付けて考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎授業の中で問題演習の時間を設け、習熟を図る。 ◎めあて、まとめ等、学習の内容を見やすくまとめたノート指導を行う。 ◎学年の後半では、ノートに考えを書き、それをもとに話し合うことを大切に、友達の考えを読み取ったり、解決の方法を考えたりする。 ◎数の提示や教材教具を工夫する。算数的な思考が身に付いたり、数や量の感覚が身に付いたりするように、教室環境を工夫する。 ◎児童の実態に合わせてプリントを用意し、考えをまとめやすいようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻や時間の概念を理解し、計算が確実にできるようにする。 ・わり算が確実にできるようにする。 ◎自分の考えを式・図・言葉などを使ってノートやホワイトボードで表現する力を高める。 ・学習したことと生活を結び付けて、問いをもち、発展的に考えることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎図を使って時刻や時間を整理することで、理解を定着する。また、単位をそろえて計算することを意識して式を書くようにする。 ◎一人ひとりが考えをもてるように、問題解決の見通しの時間を設定し、自力解決に取り組む。 ◎毎時間自分の考えをノートやホワイトボードに書いて説明する態度を育てる。 ◎教科書の問題を参考にしながら生活と結び付けた問題を提示したり、発展問題に扱ったりする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験から、気付いたことを絵や言葉で表現し、気付きを実感させていく。毎日の生活の中で気付いた季節の移り変わりや動植物の様子について伝え合う。 ・2年生との交流を取り入れ、他者との関わりを学ばせ、自分自身の成長につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体験活動の際には、観察カードを書かせる。事実に基づいた記述をさせ(色・形・大きさ・数など)自然への気付きに目を向かわせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験から、気付いたことを絵や言葉で表現し、気付きを実感させていく。 ・毎日の生活の中で気付いた季節の移り変わりや動植物の様子について伝え合うとともに、自分の生活と関連させて考えることができるようにする。 ・1年生との交流などを通して、自分自身の成長や他者との関わりを学ばせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎体験活動の際には、観察カードを書かせる。事実に基づいた記述をさせ(色・形・大きさ・数など)、気付きを実感しながら表現することができるようにする。 ◎季節の移り変わりや動植物の様子など、年間を通して具体的な活動を計画する。身近な自然や人と接する機会を多くもち、自分の生活と関連させて考えることができるよう、振り返りや発表の時間を大切にす。 		
理科					<ul style="list-style-type: none"> ・事象への疑問をもち、実験や観察ができるようにする。 ・比較して思考する力を育てるために、「同じこと」「ちがうこと」に注目させて考えられるようにする。 ・実験や観察の基本を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎単元ごとに様々な事象を提示し、児童が疑問をもつてから学習課題を立てる。 ◎「同じこと」「ちがうこと」に注目しながら実験や観察をする。 ◎観察や実験の注意点について、繰り返し確認する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・音あそびや体を使った活動などは、意欲的に取り組むが、楽しいだけで終わってしまう児童もいる。このように表現したいという思いはもっていても技能面では不安があるので、個別に指導しながら学習活動を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を大切にしながら、基礎基本が定着するよう な授業を行う。全体での活動だけではなく、少人数での活動も工夫しながら取り入れて、確かめ合いながら、学習を進めていく。 ・曲の特徴を意識し、どのように表現したいのかを考えて演奏するようにする。また、そのために必要な技能を身に付けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造との関わりに気付き、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする ・今までに学習したことを生かして、主体的・協働的に歌ったり、演奏したり、音楽をつくったり、聴いたりする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎聴き取ったこと感じ取ったことと音楽の要素を結びつけて聴くようにし、思いや意図をもって表現できるようにする。 ◎個別指導、ペア・グループ学習など形態を工夫し、技能の基礎を身に付けられるようにする。 ◎ワークシートを用いて見通しと振り返りをし、学習の積み重ねを実感できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎聴き取り感じ取ったことを基に対話ししたり、協働しながら音楽表現を生み出したたりする学習を充実させ、学びを深めるようにする。 ◎課題提示や振り返りの場面で学習内容と生活の中の音や音楽との関わりに触れ、学習したことを生活に生かす意識をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎一人一人が聴き取ったこと感じ取ったことを言葉にして共有する機会を多くもつようにし、共通の言葉で思いや意図をもって音楽表現に取り組むことで協働学習を充実させる。 ◎表現活動(歌唱・器楽・音楽づくり)では、実際に演奏して試すことを繰り返しながら、思いや意図を膨らませることができるようになる。 ◎音楽を味わって聴き、曲や演奏のよさなどを見だし、学習シートに記録したり、友達と交流して 伝え合ったりする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・紙や粘土など身近にある素材に触れる活動を通して、のり・はさみ・クレヨンなどの道具の基本的な扱い方について基礎的な技能が身に付くように指導する。 ・短時間で簡単な操作で表現できる題材を設定し、体全体の感覚や技能を働かせながら、表すことを楽しめるようにする。 ・自他の作品の面白さや楽しさを感じとるように、鑑賞の機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道具は扱いやすいように場を設定し、材料は発達段階に応じて形状や種類を吟味して出合わせる。 ◎短時間の題材の順序を吟味し、次第に用具の経験や材料の体験を深めていけるように、段階的な配列を工夫する。 ◎製作途中や作品完成後に、鑑賞タイムを設定し、作品を見る価値を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙や粘土など身近にある素材に触れる活動を通して、のり・はさみ・クレヨンなどの道具の基本的な扱い方について基礎的な技能が定着し、思い通りに使えるように指導する。 ・短時間で簡単な操作で表現できる題材を設定し、体全体の感覚や技能を働かせながら、表すことを楽しめるようにする。 ・自他の作品の面白さや楽しさを感じとり、それについて語ったり書いたりするような鑑賞の機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道具は扱いやすいように場を設定し、材料は発達段階に応じて形状や種類を吟味して出合わせ、既習の技能については前題材を振り返りながら、技能が定着するように工夫する。 ◎短時間の題材の順序を吟味し、次第に用具の経験や材料の体験を深めていけるように、段階的配列を工夫する。 ◎製作途中や作品完成後に、鑑賞タイムを設定し、作品を見る価値を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な素材に加え、木切れや厚紙・段ボールなどに触れる活動を通して、水彩絵の具や金づちなどの基本的な扱い方が身に付けられるように指導する。 ・前学年までの材料や用具についての経験を生かし、表し方を考えたり、意図に合わせて用具を選んだりしながら、表すことの喜びを味わうようにする。 ・自他の作品のよさや面白さを感じとり、それについて語ったり書いたりするような鑑賞の機会を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎道具は扱いやすいように場を設定し、材料は発達段階に応じて形状や種類を吟味して出合わせ、既習の技能については前題材を振り返りながら、技能が定着するように工夫する。カッターナイフなどの道具も安全に使用できるように安全指導を徹底する。 ◎既習事項を考慮しながら題材の順序を吟味し、次第に用具の経験や材料の体験を深めていけるように、段階的な配列を工夫する。 ◎製作途中や作品完成後に、鑑賞タイムを設定し、作品を見たり、意見を交流し合ったりすることの価値を知らせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びのやり方を知り、ルールを工夫して友達とかかわりながら体を動かす機会を増やしていく。 ・補助具などを積極的に活用し、児童が安心して、また安全に気をつけて、学習できるようにする。 ・ルールを守っていた児童や運動の仕方を工夫していた児童を取り上げ、称賛し合う場をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎友達の動きがよく見えるように場の工夫をしたり、グループ学習を取り入れたりして学び合いを促す。 ◎誰もが安全に安心して運動ができるよう、単元のはじめに運動するときのきまりごとや準備・片付けの指導を徹底して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら体をたくさん動かせるような遊びを取り入れていく。 ・安全に気をつけて学習できるようにする。 ・動きを工夫できるように、場を作ったり、児童同士での学び合いの機会を設定したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎準備運動の中に多様な動き方を取り入れた運動遊びを継続して行う。 ◎楽しみながら運動量を確保できるように、学習の流れを明確にし、素早く安全に準備ができるよう指導する。 ◎安全に運動ができるよう、意識をもって学習できるように常に声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達との関わりを通して、基本的な運動技能を高め合えるようにする。 ・友達と規則を工夫し、協力してゲームをできるようにする。 ・健康によい生活の仕方や体の発育・発達について理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎学習カードを用いて、友達と技を見合ったり、教え合ったりできる場を設ける。 ◎全員が楽しみながらできる規則を、ゲームの特性を生かして考える機会を繰り返し設ける。 ◎児童自身が自己の生活を振り返る活動を取り入れる。
総合					<ul style="list-style-type: none"> ・自分の興味関心をもとにテーマを設定し、調べて、まとめ、発表する、振り返る、という学習過程を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎テーマを設定する前に、全体で学習に対する関心を高め、テーマに対する視野を広げた後に、個人の調べたいテーマを設定するようにする。それぞれの学習過程で見本を提示する。

	4年		5年		6年	
	授業改善の方向	具体的な方策 (重点項目)	授業改善の方向	具体的な方策 (重点項目)	授業改善の方向	具体的な方策 (重点項目)
国語						
社会						
算数						
理科						
音楽						
図工						
家庭科						
体育						
総合						